

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2021~2022年度

糸魚川

“SERVE TO CHANGE LIVES”

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



2021. 9 . 30

第2919回例会

No.10

号外版 # 7

会 長 田 邊 榮 三 クラブ会報雑誌 藤 巻 賢 策

例 会 場 糸魚川信用組合本店 Tel.552-9880 (呼出)

例 会 日 毎週木曜日 12:30~13:30

創 立 1960. 9. 10 承 認 1960. 10. 12

事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 Tel (025)552-1225

糸魚川RC HP <http://itoigawa-rc.jp> 第2560地区HP <http://www.rid2560niigata.jp/>



本日の ニコニコ箱紹介
新入会員 竹井 操一様 初仕事
東北電力ネットワーク(株)
糸魚川電力センター所長



9月最終例会日
田邊栄三会長開会挨拶



糸魚川中央RCより
椿井 琢光様 メーカー
久しぶりのお越しで
昨年は第7分区ガバナー補佐でご活躍



本日2回目のゲスト卓話として
「多田松樹様」お迎えして

9月30日例会

どうぶつのきもち

代表 多田松樹様



「糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクト3 野良猫を通じて教えてもらった問題点」

平成25年2月、「どうぶつのきもち」へ加入以来、活動をしており、令和3年6月より新潟県環境審議会の委員を務めています。

このような活動を始めたきっかけは、動物好きでもない私の家に一匹のシャム猫が迷い込んだことからでした。飼い猫がどうしてこうなったのか。という疑問からの活動でしたが、活動をしていくことで問題点がいろいろみえてきました。

平成27年の動物愛護法の改正により殺処分数は大きく減少しました。犬と猫の場合を比べても犬は収容されても飼い主の元へ戻ることが多いですが、猫の場合は収容数も多く、殺処分率も高くなります。

猫は出産頭数も多く、また犬との大きな違いが人になかなか慣れないということも殺処分率に反映されます。殺処分を無くすにはどうしたらいいか。

1. 飼い主、国民意識の向上
2. 適正飼育の浸透、広報、普及啓発、教育の場への展開
3. 引き取り数の削減(法律で年を取った猫の引き取りができなくなった)
4. 飼い主の責任、安易な購入、遺棄防止(罰金が科せられます)の向上
5. 飼い主への返還と適正譲渡の実施
6. 引き取った犬猫の飼い主への返還、適正譲渡の推進などが考えられます。

また、野良猫問題解決のためにも活動しています。繁殖させないためにクラウドファンディングを用いての不妊手術費用を募り、「糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクト」立ち上げ、TNR活動をしています。TRAP(捕まえ)、NEUTER(手術)、RETURN(戻す)の一連の作業をTNR活動と言い、手術済とわかるようにオスは右、メスは左耳をカットします。このような活動にはどうぶつ基金の協力や移動手術車での出張の協力も得ています。


このTNR活動は地域住民全体の利益に資する環境改善活動の一つであり、終わりの見えない活動ですが、野良猫問題の解決に必要なものは地域で見守り、未然に防止することです。

本日のゲスト「多田 松樹 様」糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクトSeason 3
“野良猫を通じ教えてもらった問題点”



多田様 動物のきもち代表
(株)共進 常務取締役
(株)共進 建部 進社長より多田様のご紹介が

糸魚川ロータリークラブ卓話
糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクトSeason3
野良猫を通じ教えてもらった問題点



題名
どうぶつのみもち 代表 多田 松樹
昭和49年11月3日生まれ
長岡市出身 現在糸魚川市青海在住

平成25年2月 どうぶつのみもちへ加入
平成25年4月 株式会社共進入社
平成25年4月 新潟県動物愛護推進員委嘱
令和 3年6月 新潟県環境審議会委員委嘱
令和 3年7月 糸魚川市介護保険審議会委員

動物好きでもないのに活動を始めたのは？



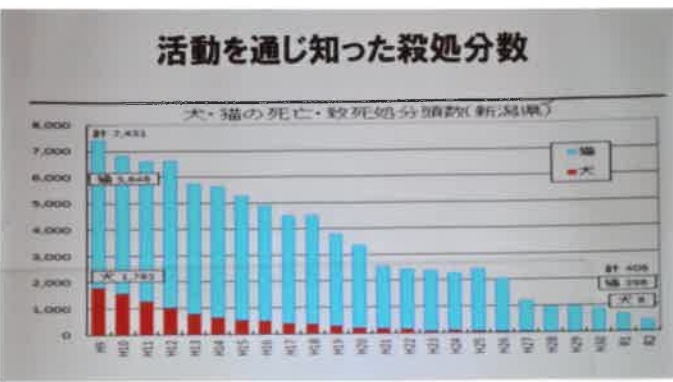
2013年1月1日雪の降る中入ってきた一匹の猫。
見るからにシャム猫？
飼い猫？なぜ雪の降る中？
何故外に？
この猫が家に入ってきた事が切っ掛けでこの活動を始めるとなりました。

犬の殺処分数


犬	飼主不明 頭数	迷子頭数	収容頭数	返還頭数	返還率 (返還/迷子)	譲渡頭数	処分頭数	処分率 (処分/収容)
H23年度	152	559	711	419	75.0%	204	80	11.3%
H24年度	165	546	711	375	68.7%	241	89	12.5%
H25年度	135	450	585	300	66.7%	213	74	12.6%
H26年度	126	413	539	290	70.2%	204	44	8.2%
H27年度	123	346	469	254	73.4%	181	30	6.4%
H28年度	75	299	374	219	73.2%	136	11	2.9%
H29年度	62	341	403	237	69.5%	137	21	5.2%
H30年度	57	301	288	168	58.2%	129	3	1.0%
R1年度	116	260	376	197	75.8%	149	13	3.4%
R2年度	31	189	220	153	69.5%	85	6	2.7%
R3年度全国	3,300	29,295	32,595	19,814	60.8%	16,312	5,835	17.9%

猫の殺処分頭数

猫	飼主不明 頭数	迷子頭数	収容頭数	返還頭数	返還率 (返還/迷子)	譲渡頭数	処分頭数	処分率 (処分/収容)
H23年度	1,075	1,953	3,028	10	0.5%	709	2,286	75.5%
H24年度	1,098	1,919	3,017	1	0.1%	814	2,187	72.5%
H25年度	1,284	1,998	3,182	9	0.5%	855	2,346	73.7%
H26年度	1,199	1,779	2,978	10	0.6%	883	2,006	67.4%
H27年度	781	1,419	2,200	26	1.8%	1,034	1,159	52.7%
H28年度	821	1,365	2,200	18	1.3%	1,227	933	42.4%
H29年度	897	1,280	2,177	13	1.0%	1,227	823	42.4%
H30年度	999	1,116	2,085	12	1.1%	1,220	857	41.1%
R1年度	794	1,106	1,900	10	0.9%	1,215	637	33.5%
R2年度	752	893	1,645	6	0.6%	1,215	398	24.2%
R3年度全国	10,403	42,839	53,242	305	0.7%	25,639	27,106	50.9%



殺処分を無くすには




- ・飼い主・国民意識向上
- ・適正飼育浸透・広報・普及啓発・教育の場への展開
- ・引き取り数の削減
- ・飼い主責任・安易な購入・遺棄の防止の向上
- ・飼い主への返還と適正譲渡の実施
- ・引き取った犬猫の飼い主へ返還・適正譲渡の推進


作者・県央・佐渡市の推進員より協力頂き
普及啓発として2021年7月3日セミナー開催



動物愛護推進員として出来ること
教育の場へ読み聞かせ・絵本寄贈



引き取り数削減の為に



引き取りによる殺処分の一部となる野良猫(所有者のわからない猫)を繁殖させない為にクラウドファンディングを用いての手術費用を募り「糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクト」を立ち上げ糸魚川市・上越市・妙高市でのTNR活動・保護活動を継続

電話相談のみでは、新潟市・長岡市・富山県朝日町

預かりでは、秋田県北部より来られる猫もおります

野良猫の事知ってみよ。

TRAP(捕まえ)NEUTER(手術)RETURN(戻す)
一連の作業をTNR活動と言います。手術済と判るように、オスは右・メスは左へ耳カットを施します。



活動続ける上で手術費用負担大きい事がネック
現在公益財団法人どうぶつ基金の協力を仰ぎ
「さくらねこTNRチケット」を用いています。



移動手術車を用いて2021年7月より出張
にて対応。1回あたり15頭以上の手術



不妊手術で野良猫は減る？



縄張りを守り続けてくれる。しかも出産せず増えな...

不妊手術を施さず放置すると...

複数の野良猫出沒



カラスにより捕食対象に



不妊手術を施さず放置すると...其の貳

近親交配進み病気猫の多発

全盲でも猫は猫だから



手術して見守っててもやり方間違えると。

不妊手術済みだからと安易に給餌を続け管理しないと...



有害鳥獣も猫フードを食べに来て、野良猫対応だけではすみません。



もしかして多頭飼育崩壊？

地域で見守り、未然に防止！



ペットは飼い主さんのバロメーター

貧困、認知症の進行、虐待など...ペットを見れば飼い主さんの状態がわかります。
飼い主さんとペットを必要に応じた支援につなげましょう！

環境省がガイドラインを策定

令和3年3月26日、多数の動物を抱え適切に飼養管理できなくなってしまう「多頭飼育崩壊」に、地方自治体を始め多くの関係者が連携して取り組むための方策をまとめた「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」を環境省が策定し、公表しました。飼い主さんが手に負えなくなった「多頭飼育」は、悪臭、騒音、ゴミ屋敷化など問題が周囲からも見えやすく、近隣住民にも弊害が及びます。

解決には早期発見が重要！

「多頭飼育崩壊」など不適切な飼育の背景には、飼い主さんの経済的困窮や社会的孤立による生活困窮といった問題があり、社会福祉的な支援を必要とする飼い主さんが多いこと、再発のリスクが高いことから「人の問題」と「動物の問題」として別々にとらえるのではなく、関係者が連携して対応することが望まれます。動物が増えてしまうと解決が困難となるため、早期発見・早期対応が解決のポイントです。



野良猫問題解決の為には

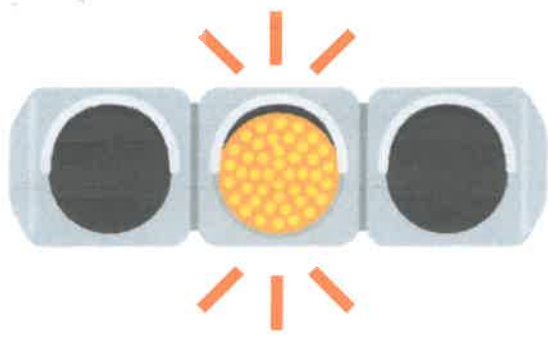
- ・TNR活動は地域住民全体の利益に資する環境改善活動の一つです。
- ・そして猫問題委の解決に必要なものは
- ・「対立」ではなく「協調」
- ・「排除」ではなく「共生」その先の「共存」
- ・「共感」と「歩み寄り」
- ・猫は、給餌するから増えて不快に感じたり困ったりするのではなく不妊手術をしないが故に困るのです
- ・その問題解決を目指し解決する試みが「糸魚川市野良猫と人との共存プロジェクト」



支え合って
安心の社会を



環境省「多頭飼育崩壊」ガイドライン



多頭飼育が問題化する兆候は？ 黄色信号チェック

チェックリストを使って飼い主さんとペットの状態を確認してください。
飼い主さんとペット、両方にチェックが入ったら
「赤信号になる前に」動物愛護センターなどに相談しましょう！



飼い主さんに関すること

ペットの世話が困難になる高齢者が急増しています。

- ①ゴミ屋敷化してきた
- ②体の汚れや身だしなみに気を使わなくなった
- ③近所付き合いがない
- ④ゴミ出しなどコミュニティのルールが守れない
- ⑤家族や親せきが遠方で困ったときに支援してもらえない
- ⑥ペットへの愛情を感じない
- ⑦体力面、精神面が弱ってきた
- ⑧表情が憔悴（しょうすい）していたり、痩せたりしている
- ⑨散歩や買い物など習慣にしていたことをしなくなった
- ⑩ペットや知人の名前を言えないなど物忘れが多くなった
- ⑪些細（ささい）なことで怒ったり、人を疑ったりなど性格が変わった
- ⑫なれている道で迷う、徘徊（はいかい）など不審な行動が増えた



ペットに関すること

- ⑬子猫・子犬が生まれている
- ⑭飼育している数が1年前より増えている
- ⑮ペットのニオイや鳴き声で近所とトラブルになっている
- ⑯屋内や屋外に、ペットの糞尿が溜まっている
- ⑰ペットが汚い（毛玉が多い、爪が伸びている、悪臭を放っている）
- ⑱ペットの具合が悪そうなのに3日以上放置されている
- ⑲ペットが異常に痩せている
- ⑳犬の散歩をしていない



相談
窓口

下越動物保護管理センター ☎0254-24-0207
新潟県動物愛護センター ☎0258-21-5501
上越動物保護管理センター ☎025-525-9263
佐渡保健所 ☎0259-74-3398

*多頭飼育崩壊を防ぐのは最初の1匹！
*飼い主がいない猫＝避妊去勢手術の助成金制度があります！

